



CHECK! (お申込み前に生徒さんにご確認ください。)

- このセミナーは約4ヶ月間(毎週)受講するキャンパスへ出向き、継続して出席する必要があります(約15回)。受講希望科目の受講条件は確認しましたか。
- 自宅または高等学校から、受講するキャンパスへの通学にかかる時間(移動時間)と授業開始時間を確認しましたか。
- テキスト代や交通費は自己負担となります。また、インターネットに接続し、授業で使用する教材を印刷したうえで、授業に出席することが求められる場合もあります。
- 掲載の講義内容は、本学のシラバス(講義要項)2018年度版より抜粋しているため、変更が生じる場合があります。講義内容については、本学または高大連携センターのホームページから2019年度のシラバスを確認してください。

「関大の講義に学ぶ」

★日程(曜日・時限)・講義内容などが変更になる場合があります。

【第3時限】13:00～14:30 【第4時限】14:40～16:10 【第5時限】16:20～17:50

開講学部・学科等	科目名 <small>※は定員、受講条件を表します。</small>	講義内容 <small>(※2018年度のシラバス抜粋)</small>	学期	曜日・時限
法 学 部 法学政治学科	展開講義 (平等問題の最先端)	人権全般をテーマとして法と政治との関連を講じます。講義はリレー講義とし、それぞれの専門分野の諸問題を人権の視点から講じます。	春	水曜日・5限
	会社法1 (企業統治) ※受講定員:3名	会社法を対象とし、主として株式会社について講義します。株式会社の機関、株式会社の設立を採り上げ、とくに企業統治に関わる、株式会社の機関を中心に行います。	春	木曜日・5限
	会社法2 (企業金融) ※受講定員:3名	株式、新株の発行(新株予約権を含む)、社債、計算、組織再編(合併、株式交換・株式移転、会社分割、事業譲渡など)、解散・清算、株式会社以外の会社(持分会社=合名会社・合資会社・合同会社)、国際会社法・外国会社を採り上げます。	秋	木曜日・5限
	国際政治学1 (国際政治の諸問題)	21世紀の国際社会は、グローバルな広がりや相互に浸透しあう現象に直面し、これまでは問題とされなかった分野にまでその関心を広げています。本講義では、国際政治の理論、アクターの性質を学んだ上で、国際政治の争点となっている問題を検討し、国際社会の問題を考える視座を各自が持つことを目的とします。	春	火曜日・5限
	※受講条件：学内システム掲載のレジюмеに事前に目を通すこと			
国際政治学2 (現代アメリカ外交論)	今日の国際政治は、良くも悪くもアメリカ外交の影響を抜きに論じることはできません。本講義では、第二次世界大戦後のアメリカ外交に焦点を絞り、主要なテーマと地域の二つの観点からアメリカ外交を分析し、その問題点と可能性について考えていきます。	秋	火曜日・5限	
※受講条件：学内システム掲載のレジюмеに事前に目を通すこと				

【第3時限】13:00～14:30 【第4時限】14:40～16:10 【第5時限】16:20～17:50

開講学部・学科等	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義内容 (※2018年度のシラバス抜粋)	学期	曜日・時限
文学部 総合人文学科 英米文化専修	学びの扉 (英米文化)	アメリカ、イギリスを中心とする英語圏の文化を幅広い視野で学ぶことのできる専修の教育プログラム内容を紹介しながら、英米文化専修で必要となる基礎的知識やスキルを身に付けることをめざします。講義の一部は英語のみで行い、課題の一部は英語で書くこととなります。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 国語国文学専修	学びの扉 (国語国文学)	日本語や日本文学を題材として、日本人のこころや日本文化のありさまについて学びます。これまで学んできた「現代国語」や「古文」とは違った、国語学(日本語学)研究と日本文学研究の「方法」と「たのしさ」を紹介していきます。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 芸術学美術史専修	学びの扉 (芸術学美術史)	芸術学・美術史の諸分野についての入門講義です。芸術学美術史専修は何を学ぶところか、専修所属の教員はどのような研究を行い、またどのように教育に反映されているかなどについて紹介します。	春	金曜日・5限
			秋	金曜日・5限
			西洋美術史 a	15、16世紀の西洋において展開された美術を、特にイタリアや北方諸国(フランス、ネーデルラント、ドイツ)を中心に概観し、その基本的な特徴や性格を理解することをめざします。
西洋美術史 b	17～18世紀の西洋において展開された美術を概観し、その基本的な特徴や性格を理解することをめざします。	秋	木曜日・5限	
文学部 総合人文学科 フランス学専修	学びの扉 (フランス学)	フランス文学・文化・風土・言語・娯楽に関する情報を多角的に提出して、「人間とは何か」を探求し続けてきたフランス文化の魅力の一端を紹介します。フランス学の「全体像」を描き出すことはできませんが、魅力的な「粗描」のいくつかを分かりやすく講義します。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 日本史・文化遺産学専修	学びの扉 (日本史・文化遺産学)	日本史・文化遺産学のエッセンスを知るための入門講義です。日本史学は、考古学が対象とする原始時代からはじまり、昭和・平成をふくむ近現代までにいる、ヒトとモノに関わるすべてのことを学びます。文化遺産学は、人類の活動によって生み出された有形・無形の文化的創造物を学びます。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 世界史専修	学びの扉 (世界史)	大学で研究されている「世界史」とはどのようなものかについて学びます。興味深いエピソード、現代へとつながっていく歴史の流れなどに加え、学問としての世界の歴史の興味深さを伝えていきます。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 地理学・地域環境学専修	学びの扉 (地理学・地域環境学)	伝統的な地理学に加えて地域環境学にも視野を広げたさまざまなテーマについてお話しします。講義で取り上げたテーマや地域について、地図や本を手がかりとして、これまでに気づけなかったことに興味を抱き、さらに研究しようという意欲を高めることを目標とします。	秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 教育文化専修	学びの扉 (教育文化)	「教育」と聞くと、「教師になるための勉強」や「上手な教え方を学ぶこと」などをイメージするかもしれませんが、教育文化研究が扱うテーマは、それよりもはるかに広く、政治、経済、福祉など広義の文化のあり方と密接な関わりがあります。講義ではそれらをさまざまな視点から解説します。	春	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 心理学専修	学びの扉 (心理学)	心理学とはどのような学問なのか、心理学の研究はどのように行なわれているのか、そして、心理学を学ぶことにはどのような意義があるのかを理解するため、専修に所属する教員が専門としている研究の一端を概説していきます。	春	金曜日・5限
			秋	金曜日・5限
文学部 総合人文学科 初等教育学専修	学びの扉 (初等教育学)	初等教育学の基本的課題を理論的かつ系統的に論じ、さらに具体的な事例や「教室」で起きている出来事をトピックにし、教師の仕事について考えていきます。	春	金曜日・5限
		※受講条件：小学校教員を志望するか、将来の進路として考えている人		
文学部 総合人文学科 文化共生学専修	学びの扉 (文化共生学)	文化と共生を考えるための入門講義です。扱う地域は主としてヨーロッパと日本ですが、異文化理解、比較文化論、文化接触、共生の問題について、どのようなアプローチをすればよいのかを提示します。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限
文学部 総合人文学科 アジア文化専修	学びの扉 (アジア文化)	アジアの思想と文化、歴史と習俗、宗教と文学などを幅広く学びます。特に、アジア文化と日本の関連について注視していきます。アジアの中でも中国・韓国(朝鮮)・日本の東アジアを重点的に扱い、さらに東南アジア・インド地域についても言及します。	春	火曜日・5限
			秋	火曜日・5限

★日程(曜日・時限)・講義内容などが変更になる場合があります。

【第3時限】13:00～14:30 【第4時限】14:40～16:10 【第5時限】16:20～17:50

開講学部・学科等	科目名 ※は定員、受講条件を表します。	講義内容 (※2018年度のシラバス抜粋)	学期	曜日・時限
経済学部 経済学科 歴史・社会専修	経済史1	大学に入ってはじめて経済史を学ぶ受講生に必要な基本的知識と基本概念を平易に解説します。経済史の主要なテーマを学ぶだけでなく、西ヨーロッパとイギリス、東アジアと日本、北アメリカと合衆国など一国と地域の経済史を振り返りながら、比較史と関係史の視点から具体的な問題を考えます。	春	月曜日・5限
	経済史2		秋	月曜日・5限
商学部 会計専修	NEW 外貨換算会計論	国際的な企業活動を情報として描き出す上で必要となる、外貨表示の項目を円へ換算する方法について検討します。経済・経営が国際化している現状を確認し、円以外のドルやユーロといった外貨建てで取引をした際に生じる売掛金や買掛金といった、外貨建債権・債務の会計処理、外貨建て保有する株式等の有価証券の評価、為替予約の会計処理、為替に関するデリバティブ取引、外国に支店あるいは子会社を設立した場合の当該支店あるいは子会社の財務諸表を日本円に表示替えをする方法等について、計算問題を通じて確認します。	春	木曜日・5限
	NEW 国際会計論	国際的に会計基準が統一化することに関する功罪と、我が国における対応について考えます。各国で多様であった会計制度は現在コンバージェンスの名の元で、調和化収斂化に向っています。こうした経緯を歴史的理論的に検討し、また国際会計基準審議会IASBによるIFRS国際財務報告基準について、その理論構造から会計処理基準の考え方、例えば、のれんの償却及び組替調整(リサイクル)について検討します。	秋	火曜日・5限
社会学部 社会学科 メディア専攻	メディア表現論	メディアにおける表現と表象の問題を扱います。さまざまなメディア表現(主に映像)を事例に挙げて、ある事象がメディアに切り取られて表象されることとはどのような意味をもつのかについて考えます。前半は、日本の表象に焦点をあて、表象の生成・伝達・受容の関係構造を理解します。後半では、日本以外の異文化の表象に視野を広げ、こうした表象がどのような歴史的・社会的経緯の中で立ち現れてきたのかも含めて考え分析します。	秋	月曜日・5限
外国語学部 外国語学科	スタディ・アブロード 地域文化入門	世界のさまざまな地域のことばや文化を紹介します。英語圏、中国語圏をはじめとして、東アジア、中央アジア、ヨーロッパの国々の言語と文化について、多言語多文化共生時代を見据えた、幅広い知識を提供します。	春	金曜日・5限
社会安全学部 安全マネジメント学科	心理学	心理学における研究対象・研究手法などについて解説するとともに、安全と心理の関係について考察します。	春	火曜日・5限
高槻ミューズ キャンパス開講	情報セキュリティ論	情報セキュリティの概念や考え方、世の中に存在する数多くの脅威、セキュリティを維持するためのフレームワーク(マネジメント)や基本技術・応用技術、セキュリティに関係する法律など、本来は多岐にわたる情報セキュリティの内容を俯瞰的に解説します。	秋	木曜日・5限
システム理工学部 電気電子情報工学科	基礎プログラミング ※受講定員:10名	コンピュータをプログラムするための基礎的な概念を学習し、実際のプログラム作成を通してプログラミング技術の習得を行います。携帯用機器からスーパーコンピュータまでカバーし、現在実用的に用いられている様々なプログラミング言語の元祖でもあるC言語を学習します。	秋	金曜日・5限
※受講条件: ・インターネットに接続したパソコンが自宅にあり、自宅学習がある程度可能なこと。 ・WindowsやWordなどの基本的なパソコン操作ができること。 ・毎回演習を行うため、積極的に演習に取り組む姿勢があること。 ・欠席すると講義内容についていけなくなることもあるため、原則として全回出席できること。				
共通教養科目 (教育推進部)	周縁からみるロシア・ ユーラシアa	ロシア・ユーラシアの周縁地域の文化と生活を、映画やドキュメンタリー、写真、芸術作品等を通して学んでいきます。前半でジョージアとアルメニア、後半でシベリアを取り上げます。	春	土曜日・3限
	周縁からみるロシア・ ユーラシアb	ロシア・ユーラシアの周縁地域の文化と生活を、映画やドキュメンタリー、写真、芸術作品等を通して学んでいきます。カフカース、シベリア、極東、サハリン、千島列島を取り上げます。	秋	土曜日・3限
	NEW 19世紀ロシア文学 の聖なるもの	19世紀ロシアの文豪は何を「聖なるもの」すなわち「大切なもの」として作品に描き、読者に伝えようとしたのでしょうか。講義ではプーシキン、ツルゲーネフ、ドストエフスキー、チェーホフを取り上げます。	春	土曜日・4限
	NEW 20世紀ロシア文学 の聖なるもの	20世紀ロシアの作家は何を「聖なるもの」すなわち「大切なもの」として描き、読者に伝えようとしたのでしょうか。講義ではツヴェターエフ、ブルガーコフ、タルコフスキー、ソルジェニーツィンを取り上げます。	秋	土曜日・4限

関大の講義に学ぶ

※共通教養科目とは、社会で活躍するために必要な広い視野と能力を養うために、総合大学のメリットを生かし学部の垣根を越えた学びを体験できる科目です。